

本当に、人権の確立している国

報告：服部 眞

★はじめに

退職して、暇になっていた時、長内さんに誘われて、この旅に申し込みました。デンマークについては、福祉先進国で、デンマークシートの開発国、酪農を中心とした豊かな農業国程度の予備知識しかありませんでした。

★説明会

事前の説明会で、この旅への参加動機を尋ねられ、デンマークで高齢者がどのように生活し、何を生きがいに行っているのか見て来たい、と答えました。他の参加者は、現に働いている介護の職場で生かしたいとか、若い人は、社会福祉を学びたい、などの積極的な意見を述べていました。参加者それぞれに目標があり、どれだけ実現できるか楽しみです。

★到着

10 時間を超えるフライトで到着したのは、成田と変わらないコペンハーゲン空港でした。バスでロスキレ市に向かう高速道路からは、高い建物は見えず、山もなく、なだらかな丘陵が続いていました。少し色づきはじめてた林、秋晴れの空に、傾いた夕日、日本ではもう目にできない風景でした。

宿泊するところは、フィヨルドのヨットハーバーにあるダンホステルという、こじんまりした清潔、簡素なところでした。周囲には緑が多く、西側の小高い丘には住宅があり、広さ、造りを見ても豊かさを感じさせるものでした。

ここを拠点に、翌日から高齢者、障がい者の施設、そして保育園と、密度の濃い見学、研修を行いました。どの施設でも歓待され手作りケーキ、飲み物をごちそうになりました。



<ダンホステルの上に建つおしゃれな住宅>

心暖まる歓迎ぶりは、この旅を 24 年にわたってコーディネートしてくださった夏代ブランドさんと、組織して来た日野社会教育センター、中能さん達の英英としてつくりあげてきた歴史があるからでしょう。

★出生前、赤ちゃんの時から始まる人権保障

今回の研修旅行でわたしが最も強く感じたのは、デンマークでは出生前、赤ちゃんの時から人権の保障がはじまるということでした。養育を援助し、親への有給休暇も保障され、1 年間は親が育児ができるシステムが出来ています。

保育園では成長するにつれ社会性を学びながら個性を育て、学校では基礎的知識を、技術学校、大学では職業、専門的知識の修得を、国、地方自治体が、無償で援助しています。

この施策は、やがて成人となり、働いて税金を納める市民を育てることを意味します。障がい者についても、能力にあった労働を行う授産施設や、精神障がい者のための入居施設では、居住者として個人の生活を送ることが尊重されています。集団入所による介護で

はなく、その人らしい生活を送れるように、援助者として施設スタッフがあります。介護は人権として確立されつつあります。

高齢者で認知症のひとたちのためのデイケアセンター、入居施設でも、介護は人権の考え方が貫かれていて、デイケアに通っている人が、割と自由に外で乗りもので遊んだり、車いすを押しあつたりしていました。付近には職員の姿は見当たりません。これにはとても驚かされました。どの顔も笑っていたようです。

★日本では

日本の憲法でも人権条項があり、基本的人権は保障されているはずですが、現在の政策では、福祉はまるで厄介者のように扱われ、不況の中ではどんどん削減、縮小される対象です。

今回見てきたデンマークでは、福祉は人権、介護は人権、教育は人権で、これが保障されることは国民の権利であり、国の責務です。デンマークで現在のような豊かな福祉国家を築きえた要因は、平和、教育、福祉によると言われています。つまり平和であれば、教育、福祉に大きな予算を使っても、国を運営することができるということです。

★まとめ

一番無駄なものは福祉だ、といった政治家がいました。しかし、福祉とは働きたい希望と意欲があれば、それを実現する能力を与え、機会を提供する側面があります。障がい者にも子育て中の両親にも、できる範囲で働いてもらい、自活し、税金を納めてもらうのです。

福祉の職場では女性が多く、管理者が女性の所も多数ありました。象徴は、36才のロスキレ市長です。若くてキュウトな女性でしたが、こうした、女性の社会進出を支えているものは、福祉政策の結果なのでしょう。

デンマーク国民は、日本から考えると、高

い税金を払っています。所得税は50%を超え、給与所得者だと60%ほど、税金として納めるようです。しかし、国民は納得して納めているようです。一人当たりの所得が高く、税引き後でも500万円以上が可処分所得として残ります。これは日本の一人当たりの国民所得の四百数十万円より多い額です。セーフティネットがはりめぐらされ、衣食住に心配はありません。税金の使い道については、国民のコンセンサスがとれているためと思われる。

民主主義を多数決だと曲解し、国民無視の政策を続ける国とは違う民主主義がデンマークにはありました。十分に論議し、結論を急がず、時間をかけ、合意を目指す姿勢が確固としてあります。相手を尊重することはその人の人権を尊重することです。福祉政策は、人権の確立をめざすデンマークの民主主義の要となっています。



<障がい者社会教育センターにて>